

伊那谷で 備え考えるきっかけに //

防災フェス

2025年1月26日 日

10:00-16:00 飯田短期大学本館



参加費
無料

何故だろう、「自分は災害には遭わない気がする」「私は大丈夫」と想うのは…。
テレビの向こうで大変な事が起きているのに、自分事としては考えられない。
もしも、自分が住んでいる市町村で大規模な災害が起こった時、私たちはどう行動したらよいか。
事前に必要な備えと「その時、どう考え、行動すればよいか」を考えるきっかけに参加しませんか。

10:00-10:50 講演①

災害直後の現状と災害が起こった後 行政が企業や市民に求めていること

一般社団法人危機管理養育研究所
上席研究員 後藤武志氏 Zoomでの講演

親子でのご参加歓迎!

10:50-13:00 ランチョンセミナー

もしもに備える
地域食材・大豆食品活用の可能性
旭松食品株式会社 所長 村澤久司氏

バッククッキング は、鍋に湯を沸かして、耐熱性ポリ袋に材料などを入れて湯せんする調理法。少ない水で、温かい料理を作れるため、災害時でも役立ちます。



バッククッキング体験&試食
地元食材を活用した災害時の食事
発災直後の栄養バランス
飯田短期大学 高木一代

申込み

全体参加から一部のみ参加も可能です。
下記のQRコードを読み込み
お申し込みをお願いいたします。

13:00-14:00 講演②

能登半島の地震・豪雨災害における 栄養士会の活動

石川県栄養士会 副会長 北出宏予氏

能登半島地震から約1年、食支援からみえた平時からの備えのこと、1年経った今、地域でどのような支援が求められ、実践されているのかなどのお話を伺います。



防災フェス申込み

14:10-16:00 ワークショップ+ 質疑応答

- ワークショップ『自助×共助 -もしもに備える 目指せ!逃げ遅れゼロ! -』
伊那市社会福祉協議会
- 全体を通しての質疑応答

問い合わせ先 | 飯田短期大学 高木一代 takagi@iida.ac.jp / 0265-22-4460

主催 飯田短期大学 共催 一般財団法人伊那谷財団
後援 飯田市 / 飯田市教育委員会 / 公益財団法人長野県栄養士会

